

システム薬学研究機構・日本バイオインフォマティクス学会
シンポジウム

第2回 新たな創薬パラダイムの創出

日時:2011年1月13日(木)13時~17時

場所:東京大学医科学研究所1号館講堂

主催:システム薬学研究機構

日本バイオインフォマティクス学会

参加費:無料

オーガナイザー:江口 至洋、宮城島 利一

13:00 ~ 13:10 はじめに

宮城島 利一 (システム薬学研究機構)

13:10 ~ 13:50

医薬品を巡る最近の状況と今後の方向

中垣 俊郎 (医薬品医療機器総合機構)

13:50 ~ 14:30

新抗インフルエンザウイルス薬・ラニナミビル:分子設計と化合物プロファイル

小林 慶行 (第一三共)

14:30 ~ 15:10

Biopharmaceutics Classification Systemを活用した創薬戦略

高木 敏英 (大日本住友製薬)

15:10 ~ 15:30 休憩

15:30 ~ 16:10

医薬品安全性評価におけるインフォマティクスの活用

上原 健城 (塩野義製薬)

16:10 ~ 16:50

DDSの現状と今後の展開

牧野 公子 (東京理科大学、システム薬学研究機構)

16:50 ~ 17:00 まとめ

寺田 弘 (東京理科大学、システム薬学研究機構)

申込・問合せ先

システム薬学研究機構・事務局 staff@systemspharma.org